

2月号

# 光市医師会報

No 173

*I am a Doctor*



昭和62年 3月発行  
光市医師会

## 医師会月間行事

### S62年2月度理事会

2月10日 於光市医師会館

#### 議 題

1. 学校医変更の件（附属小・中学校）
2. S62年度休日診療表原案検討
3. 松岡満寿男参議員議員後援会入会の件
4. S62年度事業計画について
  - 例会のあり方
  - 県医100周年記念式典出席について
  - お盆の休日診療扱いについて
  - 3種混合ワクチンの個別接種への検討  
(以上会長より)
5. 乳児検診について
6. 光三医師会の件
7. ムンプスワクチンの件
8. 光市長との話し合いについて
9. 休日診療8年間の統計
10. レセプト運搬について
11. 山口県胃癌検診従事医師連絡協議会  
(以上仮称) 設立準備会の開催について
12. 市国保協議会報告(以上福本理事より)
13. 忘年会・新年会の会計報告  
(藤原理事より)
14. 医師会定款について(会長より)

### S62年2月度月例会 研修会

2月24日 於光医師会館

1. 研 修 会  
研修ビデオ

(A)殺菌と消毒

(B)臨床医における抗炎症剤撰択の基準

#### 2. 月 例 会

- ：第2回通常組合及び第2回支部長会議
  - ：中村琢美先生より父上会葬の御礼
  - ：昭和60年度結核医療の基準改正
  - ：AIDSについて
  - ：医学会総会登録要請
  - ：県内悪質運転車リスト配布
- その他、理事会に同じ

### 市長との話し合い

2月20日 6:30PM 於松原屋

1. 市長挨拶
2. 光市医師会長挨拶
3. 議 事
  - ：S62年度医師出務報酬について
  - ：一般健診の実施状況について
  - ：救急出動について
  - ：休日診療について
4. 討 議
  - ：救急出動中徳山搬送の内容について
  - ：休日診療
  - ：予防接種の問題点
  - ：心臓検診
  - ：校医の複数化について
  - ：国保人間ドックについて
  - ：性教育について
  - ：原爆被爆者検診に相談コーナー要望
  - ：市立幼稚園・保育園の園医の報酬について



## 知名人の彼岸

大野宗二

前回は、新聞紙上に告示された知名人の1000人について、死因別大分類を試みた。再記してみると、表1の如く循環器系疾患が圧倒的に多い。

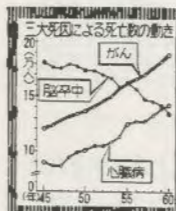
表1

循環器系疾患	新生物系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患
41.5% (415人)	19.4% (194人)	15.1% (151人)	8.9% (89人)

### 1. 厚生省発表の人口動態統計

厚生省発表の昭和60年人口動態統計によると、人口10万人当り死亡率は、癌が156.0 心臓病117.3 脳卒中112.2 の順位となっている。これらを昭和59年と比較してみると、癌は152.5 心臓病113.9 脳卒中は117.2 で、癌は依然として死因の第1位である。心臓病と脳卒中についてみると、従来死因の第2位を占めていた脳卒中は、昭和60年は昭和59年より5.0%減少、心臓病は3.4%上昇して、従来死因の第3位であった心臓病が、従来死因の第2位であった脳卒中を抜いて死因の第2位にのし上がってきている。

表2



<60年の人口動態>

	男		女	
	01年	59年	01年	59年
出生	1,431,577	1,481,780	11.9	12.5
死亡	752,259	740,217	6.3	6.2
がん	187,612	182,280	156.0	152.5
心臓病	141,017	136,162	117.3	113.9
脳卒中	134,486	140,063	112.2	117.2

マスコミは、このことを「心臓病増一死因2位に、脳卒中を抜く（食生活の洋風化反映）」と、トップ記事として報道している。昭和60年の人口動態統計によると、死亡

は昭和59年に比して12000人余り増加し、死亡率は9年ぶりの高い水準となっている。死因は①癌・②心臓病・③脳卒中で、癌は5300余人・心臓病は4800余人増加、脳卒中は5100余人減少している。脳卒中は、昭和33年以来死因の第1位であったが、昭和56年に癌が首位の座を占め、昭和60年には心臓病が増加して、脳卒中と心臓病の死因順位が逆転したのである。

このことについて、厚生省は心臓病の増加はエネルギーや動物性脂肪の取りすぎなど、食生活の変化・運動不足・ストレスの増加等を原因とみている。脳卒中の減少は、栄養状態が良くなり、塩分の取りすぎも改善されつつあるためではないかとの見解を示している。

また、癌による死亡率は24.9%で心臓病と脳卒中を合計すると、三大死因だけで全死亡の61.5%を占めることとなり、将来とも地域医療における保健教育・予防施策・早期発見・早期治療の重点目標となることは、死因の順位の如何に拘らず重視しなければならぬ。

さて、本論に戻って知名人1000人について眺めてみよう。

### 2. 知名人の死因、欧米型?

本文の初めに記載したように、循環器系疾患が新生物系疾患より22.1%も多く41.5%で、厚生省発表の人口動態統計による死因第1位癌・第2位心臓病の順位とは逆になっている。

つまり、知名人の場合は癌より心臓病で死ぬ率が遥かに高いことになるが、扱った素材が狭少偏向しているため、学問的比較で論ずることはできない。欧米の多くの国



においては、心臓病が癌を引き離して死因の第1位になっているが、知名人の場合は欧米型といえるかどうか、そんな気もするのである。

3. 心臓病と脳卒中

循環器系疾患（心不全・脳出血・くも膜下出血・脳硬塞・心筋硬塞・心筋症その他）を死亡告示録について分類してみよう。循環器系疾患の死亡数は1000人中456名（45.6%）と高率で、新生物（癌）による死亡194名（19.4%）より遥かに多い。次に同じ循環器系疾患内の心臓病（心不全・心筋硬塞・心筋症）と脳卒中（脳出血・くも膜下出血・脳硬塞）を比較してみると、心臓病による死亡数は351名（77%）脳卒中（脳出血・くも膜下出血・脳硬塞）の94名（21%）より3.7倍の高率で、心臓病死は脳卒中死より著しく多く、人口動態統計の発表の如く、心臓病死が脳卒中死より遥かに上位にある。

表3

循環器系疾患死亡数 456名(45.6%) 全死亡1000名	
心臓病 心不全 心筋硬塞 心筋症	脳卒中 脳出血 くも膜下出血 脳硬塞
351名(77%)	94名(21%)

4. 心臓病死の分類

心臓病死351名中、心不全の病名が297名（84%）心筋硬塞53名（15%）心筋症1名（0.03%）で、心不全の病名が圧倒的に多いのに驚くのである。

表4

心臓病死 351名(35.1%) 全死亡1000名		
心不全	心筋硬塞	心筋症
297名 (84%)	53名 (15%)	1名 (0.03%)

病名の取材告示をどういう方法で調査したかということも気になる所だし、人間死ぬ時は誰しも最後には、心臓ポンプの不全（脳死も含めて）に陥って死ぬのだから心不全の病名が多くなっているのではないかと臆測してみたくなるのだが、心不全を起こす基礎疾患が分れば、心臓病死の分類も若干変わってくるのではないかと考えもするのである。

5. 脳卒中の分類

脳卒中（脳出血・くも膜下出血・脳硬塞）についてみると、94名中脳硬塞41名（43.5%）脳出血40名（42%）くも膜下出血13名（14%）の順位となり、脳硬塞が第1位である。

6. 循環器系疾患の年齢別死亡

心不全・心筋硬塞・心筋症・脳出血・くも膜下出血・脳硬塞等の年齢別死亡を分類してみると、90才以上が6.9%、80~89才代が38.3%、70~79才代が32.1%、60~69才代が13.93%、50~59才代が7.31%、40~49才代が1.39%である。

表5

循環器系疾患の年齢別分類					
90才以上	80~89才	70~79才	60~69才	50~59才	40~49才
29名 (6.9%)	141名 (38.3%)	137名 (32.1%)	67名 (13.9%)	43名 (7.3%)	6名 (1.3%)

7. 人生80年代は来るか

表5にみるように80才代以上が45.2%となり、既に人生80年代に突入している感じがするのである。

8. 三大死因の年齢別頻度

10才刻みの年代別頻度を表6・表7に記載しておく。心臓病死は、脳卒中死より遥かに高率である。

㊦ 新生物 194人

表 6

	胃癌	肝癌	腸癌	食道癌	肺癌	その他の新生物
40~49才	1 (0.5%)					2 (1.0%)
50~59才	8 (4.1%)	18 (9.2%)	8 (4.1%)	2 (1.0%)	6 (3.0%)	9 (4.6%)
60~69才	2 (1.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	15 (7.7%)	8 (4.1%)
70~79才	7 (3.6%)	6 (3.0%)	8 (4.1%)	4 (2.0%)	22 (11.3%)	19 (9.7%)
80~89才	6 (3.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	0	8 (4.1%)	10 (5.1%)
90才以上	1 (0.5%)	0	0	0	0	2 (1.0%)
計	25 (12.8%)	33 (17.0%)	27 (13.9%)	8 (4.1%)	51 (26.2%)	50 (25.7%)

## うちかたの先生



横山 宏先生 編

㊧ 循環器系疾患 456人

表 7

	心不全	心硬 筋塞	心筋症	脳出血	くも膜下出血	脳硬塞
40~49才	4 (0.87%)	0	0	1 (0.2%)	1 (0.2%)	0
50~59才	21 (4.6%)	4 (0.87%)	1 (0.2%)	6 (1.31%)	7 (1.5%)	4 (0.87%)
60~69才	40 (8.7%)	14 (3.0%)	0	9 (1.97%)	2 (0.4%)	2 (0.4%)
70~79才	90 (19.7%)	18 (3.9%)	0	13 (2.8%)	1 (0.2%)	15 (3.2%)
80~89才	95 (20.8%)	16 (3.5%)	0	10 (2.2%)	2 (0.4%)	18 (3.9%)
90才以上	25 (5.4%)	1 (0.2%)	0	1 (0.2%)	6 (0.31%)	2 (0.4%)
計	297 (65.1%)	53 (11.8%)	1 (0.2%)	40 (8.7%)	13 (2.8%)	41 (8.9%)

横山先生は光市立病院の王子様で、ナース達の憧れの的。毎日プレスバッチリでセンスの良いズボンは日替りメニューです。シャツやジャケットの調和もまた格別です。蔭で支えていらっしゃる奥様の内助の功の味を漂わせながら、明るい声で「おはようございます」と外来においでになります。服装だけではありません。櫛目の通った頭髪からはヘアトニックの香りがしますし、穏やかな表情と物静かな態度は正に王子様の風格を備えていらっしゃいます。

身だしなみを綺麗にしておられるのはセンスの豊かさだけでなく、性格的なものでもあるのだと思います。医局の机は何時もキッチンと整理整頓されており、私達ナースが先生から資料を持ってくると頼まれた時でも「本棚の左から何番目」「机の上の右端にある資料」というふうに具体的に指示されますので、几帳面な性格の一面を伺い知ることが出来ますし、診療中は冗談や私語をおっしゃらないのも、こうした気質を覗かせてくれる一面でしょう。又違った見方をしますと、仕事に対して非常に厳しく真面目に取り組んでおられる姿勢だと思います。

### 9. 死亡の場所

病院が70%、自宅が20%、その他が10%で、病院死亡が圧倒的に多い。なお1000人の死亡中、自殺が40才代で2名、60才代で1名の計3名あることを付記しておく。

### 10. おわりに

まことにくだらないことを長々と書いて、光市医師会報の紙面を汚したことを御詫びする。

73才の高齢には、いささか思考力・行動力の衰えを感じるのだが、暇を得て、なお細かく分析してみたいと考えている。



診療に必要な検査が出来ていなかったり、指示された事が洩れていた時等「ドーシテそんな事になるの? 困るナア、困るナア」を連発されます。その言葉を聞く時のナースは、反省しながら「困ったワ、どうしましょう」と縮こんでいます。ナースに厳しい「困るナア」先生も、患者さんである赤ちゃんや幼児達には優しく、母親の相談にもテキパキと対応されて不安な気持ちを取り除く技術も大変お上手です。「イヤーン」とむずかる幼児に対して「ウン、ウン、痛いことをするのは看護婦さん、先生はナーンもセンヨ。ホラ、これでトントンするだけ」と独特のアクセントで語りかけながら、手極よく聴心器を当て診療を済ませてしまいます。幼児の心理を適確に把握していらっしゃると、感心しています。

お蔭様で小児科の窓口は大繁盛、ナースは汗ダクのテンテコ舞い。最近「困るナア、困るナア」の言葉を耳にしませんので内心ホットしていますが、気持ちの弛みが大きなミスを引き起こす原因になりますので、「治にいて乱を忘れず」の格言を思い出しながら、弛みがちな気持ちを引き締めています。



人に負ける事が嫌いな性格なのでしょう? スポーツでもゲームでも、夢中になってプレーをしたりチャレンジしたりなさいますので、女性の理想像としての男性として慕われています。バレンタインデーの日には、沢山のチョコレートの山に囲まれていました。恐らく、医局でもナンバーワンではないでしょうか? 職員やナース達だけではなく、患者さんやその母親にも人気のある「困るナア」先生は、やはり小児科の王子様です。今日も一日お疲れさまでした。

### 緑友会ゴルフコンペ

1月25日 於周南カントリー

緑友会コンペおなじみの珍プレー! 好プレーの中、フレンドリーな1日をみんなして味わうことができましたこと、ただただ健康に感謝している今日この頃です。この小さな集いに乾杯!!

そして、成績はというと下表のとおりです。

Name	1st Round		Gross	H'dcp	Net	Order
	out	in				
藤村	44	43	87	6	81	4位
前田	56	51	107	17	90	10位
河内山	52	50	102	15	87	7位
竹中	55	57	112	25	87	6位
大野	55	55	110	20	90	9位
横山	46	45	91	14	77	2位
佃	NR	56		17		
光武	49	49	98	10	88	8位
守田	43	47	90	9	81	5位
儀本	49	54	103	8	95	11位
諏訪	45	46	91	12	79	3位
國本	47	53	100	23	77	優勝

次回H D 國本...19、横山...13



ファイト!!

### あとがき

そろそろ春間近となってきました。しかし、医療をとり囲む環境は、当分寒波が近づきそうです。

せめて、会報だけでもホッとするあたにかいものにしたいと思っておりますが、これは、私にとっては大変困難なことです。皆さんのなお一層のご協力を期待しております。

梅田



医師会月間行事

S67年2月度理事会

2月10日 光市医師会会館

題目 ヌイトキテ

- 1. 学校医業務の現状(柳田) 柳田
- 2. 学校医業務の将来(柳田) 柳田
- 3. 私立病院の経営(柳田) 柳田
- 4. 学校医業務の現状について



きせき

市長との話し合い

市長との話し合いは、市長と医師会代表との話し合いです。市長は、光市市長です。医師会代表は、医師会代表です。話し合いの内容は、光市の医療の現状、医師会の業務、市民の健康などについて話し合いました。市長は、光市の医療の現状について詳しく話を聞きました。医師会代表は、光市の医療の現状について詳しく話を聞きました。話し合いの結果、市長と医師会代表の間には、相互理解が深まりました。市長は、光市の医療の現状について詳しく話を聞きました。医師会代表は、光市の医療の現状について詳しく話を聞きました。話し合いの結果、市長と医師会代表の間には、相互理解が深まりました。

S67年2月度理事会

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社